



みやぢき 泉 いずみ

ごあいさつ

.....

岸本知事の急逝は、私にとって信じられない、残念でならない出来事でした。しかし、知事の熱い思いを引き継ぐことが、副知事として指名された私の責務であるとの思いに至り、立候補を決意しました。

大学を卒業して四十年あまり県の職員として、教育長をはじめどの職にあって、ただ一筋に和歌山のため、そして県民のため、仲間とともに懸命に力を尽くしてまいりました。なかでも、地域の皆さんの声をうかがうこと、現場にしっかりと目を向けともに歩むことは、県庁の一職員として私がもっとも大切にしてきたことです。

この姿勢は、これからも揺るがず変わ

りません。県民皆さんの声をよく聞き、市町村と連携し、県議会の先生方や県庁の職員皆さんと一丸となった、和歌山の未来を見据えた挑戦に、ぜひとも私、みやぎ泉に取り組ませてください。

岸本知事が目指したのは県民の笑顔でした。笑顔には希望が必要です。

いま、和歌山には少子高齢化や人口減少など大きな課題があります。しかし、そうであっても、未来に希望をもって前を向ける、笑顔あふれる和歌山にしてゆくことが、岸本知事の遺志であり、私の強い思いでもあります。

力強く、和歌山の将来を築いていくため、どうか私に、皆さんの一票を投じてください。何卒よろしくお願いいたします。

みやぎ泉の約束

誰もが未来に向けて歩んで行ける社会を実現します。

また、県内産業の人手不足や収益を高める取組を支援するとともに、誰もが働き続けられる社会をめざします。

和歌山のために

- ① 未来を創^{つく}る多様な個性をはぐくむ
- ② いきいきと働くことができる仕事をつくる
- ③ いのちと暮らしをまもる
- ④ 住みよい和歌山、住みたくなる和歌山をめざす

自民・公明・立民・国民・社民・連合推薦

略歴

66歳、昭和34年2月21日和歌山市生まれ、野崎小、河北中、桐蔭高校卒業
大阪大学人間科学部卒業、県庁入庁、知事室長、県教育長、副知事など歴任

県民によりそい、
笑顔あふれる和歌山へ。

笑顔をつなぐ、

みやぎ 泉

いずみ